

## 令和2年度 成果報告 産業観光課総括

### 1. 商工観光関係

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業所に対して、事業継続のための融資事業の他、感染拡大防止のための協力支援や対策整備、売り上げが減少した事業者に対する継続支援金等の事業を行った。また、全町民に対して商品券給付事業を行い町内消費拡大を図った。
- 南木曾町観光協会の一般社団法人化により、旅行業の資格を取り、地域限定ではあるが旅行商品の取扱いできるようになった。また、コロナ禍におけるGoToキャンペーンや各種事業の周知や調整に努めた。
- コロナ禍で様々な行事・イベントが中止になる中でも、アフターコロナを見据えての観光施設整備事業等を行った。

### 2. 農政・農村整備・林務関係

- 中山間地域等直接支払制度の第5期（令和2年度～6年度）と多面的機能支払交付金事業の第2期（令和元年度～5年度）による各協定での取り組みが進められ、農道・水路の維持管理が行われた。中山間地域等直接支払制度は対策期間の初年度ということで計画策定の指導と認定作業を行った。
- 畜産振興については、素牛導入事業や町有牛導入事業により飼育頭数の増加に合わせて、出荷頭数も増えたが、コロナ禍の影響から家畜市場の子牛の価格は落ち込んだ。
- 土地改良施設維持適正化事業の水路改修において、今年度は「細の洞水路」と「塚野水路」の2か所を施工した。
- 細の洞地区における小水力発電事業は、平成30年度に工事着手し、沈砂池・ヘッドタンク、約630mの導水管、発電所施設が令和2年度に完成し、令和3年1月から発電及び売電を開始した。
- 有害鳥獣対策として、猟友会にサル用捕獲檻、くくりワナ等を配布し有害駆除を実施した。また、緩衝帯整備2か所、柵の設置1か所を実施し、有害鳥獣の出没対策を図った。
- 森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度による与川川合地区の意向調査を広域と連携して行った。また、木材利用促進として、公共建築物への資材提供を行うため、町有林搬出木材について製材保管を行った。

### 3. 妻籠宿有料駐車場特別会計

- 駐車場使用料は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、対前年度比54%の減となった。妻籠宿には、特に国の緊急事態宣言や入国制限の影響が大きく表れ、インバウンド客の皆減が続いている。

#### 4. 【評価】

- 観光協会は、一般社団法人化され協会組織体制も新しくなり、旅行業の資格も取得したことから、今後の新たな開発や既存の観光施設を活かした独自の展開が期待される。町はこれを支援していく体制が理想的であり、協会が財政面でも自立できるまで今後も支援を行っていく必要がある。
- 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者の緊急支援策や、観光施設等におけるアフターコロナを見据えた受け入れ態勢整備等を地域の協力を得ながら実施していく必要がある。
- 妻籠宿有料駐車場の使用料は、保存事業等への財源として充当してきたが、減収による一般財源の繰り入れが続いている状況から、妻籠宿保存事業の見直しに合わせて、特別会計事業の見直しも必要である。
- 中山間直接支払や多面的機能支払事業は、自主的な維持修繕で農地を保全できるほか、農家の所得補償にもなっているため今後も継続が必要である。
- 細の洞小水力発電施設は、令和2年12月に完成し、1月から供用を開始した。得られた電力を売電し、農業用施設や公的施設の維持管理費等に充てていくため、今後は安定的な稼働に務めていく必要がある。
- 森林造成事業等町上乘補助金は、森林組合の民有林搬出間伐の事業に対する支援であり、健全な森林を維持するために今後も必要な事業である。
- 森林経営管理制度が動き出し、1地区の経営意向調査が行われた。健全な森林整備や森林管理に向けて進めていく必要がある。
- 有害鳥獣駆除事業は、拡大している農作物被害及び林業被害防止のため、状況を把握しながら継続的な駆除が必要である。また、鳥獣被害対策実施隊の駆除報償や資格保持者の経費負担の軽減を図って、隊員の確保を図っていく必要がある。

## 7 産業観光課所管

### 1. 商工

#### (1) 商工振興

##### ○雇用対策について

- ・木曽地区雇用対策推進協議会（9月23日、12月16日、2月26日）  
木曽地区の雇用情勢等の報告、各町村で意見交換。  
木曽地区高校生向け企業説明会、木曽地区就職面接会の開催。
- ・木曽地域 就業促進・働き方改革戦略会議（9月23日、2月26日）  
H30 から木曽地域振興局が事務局として設立。町村長・各種団体の長が集まり、木曽地域における産業人材の確保や学生の地域産業への就業促進等について、現状と課題を共有し地域一体となって取り組むことを目的としている。
- ・中津川・南木曽・大桑雇用対策関係市町村連絡会議（7月8日）  
中津川市雇用対策事業との連携（負担金：33千円）  
高等学校求人一覧冊子の作成、配布（蘇南高等学校：5冊、木曽青峰高校：2冊）
- ・公共職業安定所の発行する求人情報を窓口を設置（役場、南木曽会館）

##### ○資金融資措置

中小企業の経営基盤確立のため、県及び町の制度資金（設備・運転資金・特別経営安定対策）に係る融資斡旋を商工会及び県信用保証協会並びに金融機関と連携して実施した。

融資額は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度と比べ、大幅に増額（417,370千円）となった。融資内容としては、運転資金が約99%（440,570千円）を占めた。

- ・町中小企業振興資金（年利2.0%）

預託金	総額	21,500千円	
	八十二銀行	11,000千円	岐阜信用金庫 6,500千円
	木曽農協	4,000千円	

- ・融資の状況

町制度資金	1件	5,000千円
県制度資金	31件	435,890千円
計	32件	440,890千円

※全て、新型コロナウイルス感染症の影響による融資

- ・制度資金あっせんによる保証料補給

町制度資金	2件	140千円
県制度資金	31件	7,640千円
計	33件	7,780千円

※町制度資金1件 32千円以外は、新型コロナウイルス感染症の影響による保証料補給

- ・災害影響による借入に対する利子補給

平成26年度	4件	222千円	※運転資金4件
令和2年度	32件	2,226千円	※運転資金31件、設備投資1件

○小規模事業者への指導

- ・小規模事業指導費として南木曾商工会に4,500千円を交付。経営指導、融資斡旋等を実施。
- ・地域内消費拡大事業補助金として、なぎそ・おたのしみカード会に200千円を交付。カード・商品券事業を実施。

○木材、木工業の振興

- ・ウッディ・クリエイト・ナギソ（WCN）の事業に75千円を交付。
- ・第35回南木曾町小学生木工造形コンクールの実施（展示は町民展と同時開催）  
応募作品171点

○木材産業体験事業

- ・町内木工事業者の協力により、南木曾小学校3年生が総合的な学習「南木曾の木を知ろう」で、間伐材を利用した木製テーブル・ベンチ作りを行った。テーブル4台、ベンチ8台を町内観光地等へ配置した。

事業費 192千円（県：144千円、町：48千円）

設置場所：各保育園、東山神社下

○伝統工芸品の振興

新型コロナウイルスの影響により各種イベント・物産展が中止となりPR及び販路拡大を図れなかったが、町内の伝統工芸の後継者育成と振興を図るため次の団体に助成を行った。

- ・「南木曾ろくろ細工」（国指定伝統的工芸品） 南木曾ろくろ工芸協同組合 350千円
- ・「蘭檜笠」（県指定伝統的工芸品） 蘭檜笠生産協同組合 実績なし
- ・「田立和紙」 田立和紙保存振興会 300千円

○木曾勤労者共済会

- ・会 員 数 175名（令和3年3月末現在）
- ・加入事業所数 38企業
- ・共済給付事業 祝 金 31件 285,000円  
見舞金 4件 107,000円  
弔慰金 4件 40,000円.
- ・融資事業（生活資金・住宅改良資金） 0件  
町村預託金 2,000千円 長野県労働金庫木曾福島支店
- ・人間ドック利用補助 12件 48,149円
- ・勤労者共済会組織町村負担金 999,440円

○新型コロナウイルス感染症の影響を受けての事業者支援関係

・新型コロナウイルス拡大防止協力支援事業

4月28日～5月6日まで（第1期）および5月7日～17日まで（第2期）の全期間において休業を行った事業者への支援を行った。（1期あたり上限 100千円）

両期間	48件	9,600千円
第1期のみ	1件	100千円
第2期のみ	35件	3,500千円
計	84件	13,200千円

・県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業

協力金対象施設で4月24日～5月6日までの全期間において施設使用停止または休業、食事提供施設で夜8時～翌朝5時までの営業自粛及び夜7時以降の酒類提供の自粛を行った事業者への支援を県と連携し行った。（1事業者につき 300千円 ※県3分の2 町3分の1）

市町村協力金	34件	3,400千円
--------	-----	---------

・緊急経済対策商品券給付事業

4月27日時点での町内に住所を有する者、1人につき5千円分の商品券の給付を行った。平成3年4月2日以降に生まれた者（29歳以下）については、5千円分の加算を行った

商品券配布額	24,430千円
商品券使用額	24,177千円

※換金率 98.96% 取扱店とりまとめ、換金事務については、南木曾商工会へ委託

・新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援給付金給付事業

国持続化給付金の給付を受けた、町に所在地がある事業所・個人事業者に対し国持続化給付金額の10分の1（上限200千円）を町独自の支援金として給付を行った。

法人	38件	7,600千円
個人	93件	9,088千円
計	131件	16,688千円

・新型コロナウイルス感染防止対策整備支援金事業

飲食店、宿泊施設で、「新型コロナ対策推進宣言の店」であり、5月1日～10月30日までの間に使用した、対象経費（消毒費用・飛沫対策費用・換気費用・その他衛生管理費用）の支援を行った。（補助額 上限100千円）

支援事業者	30件	2,455千円
-------	-----	---------

・飲食業等緊急支援給付金支給事業

町内で酒類を提供し夜5時以降も営業する飲食業者または、交通事業者に対し対象月（令和2年12月・令和3年1月の間）の売上が前年同月比で50%以上減少した月があり、且つその減収額が100千円以上の事業者に減収額の2分の1の支援を行った。（上限200千円）

支援事業者	10件	1,814千円
-------	-----	---------

## (2) 消費生活

### ○消費者相談等への対応

- ・町への苦情相談問い合わせ件数3件（内 クーリングオフ手続き指導：0件、契約解除指導：0件、警察・消防へ通報・情報提供：0件、放送による周知：0件、相談受付のみ：3件、県消費生活センター斡旋：0件）
- ・広報誌、広報無線などで被害防止の周知活動を必要な都度実施

### ○リサイクル運動 廃油の回収

※平成23年4月～平成31年6月まで上松町「こまくさワークセンター」にて食用油の回収・リサイクルを行っていたが、事業縮小により回収不可となった。令和元年7月以降は、中津川市のケイナククリーン(株)による無料回収を依頼している。

## (3) 運輸関係

### ○中央西線輸送強化期成同盟会部会

木曾地域交通網対策協議会で、JRへの要望活動を実施

令和2年 7月29日 中央西線（JR東海）利用に係る要望書を長野県へ提出

令和2年10月29日 「長野県JR連絡調整会議」（県庁）

令和3年 3月 3日 JR東海本社への要望活動（オンライン）

### ○南木曾駅窓口業務の受託（平成24年10月1日～）

JR東海の南木曾駅無人化を受け、窓口での乗車券類の販売業務を町が受託して実施。新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の利用減。

- ・窓口営業時間 午前7：50～午後4：05  
(昼休憩 11：10～11：30 12：35～13：15)
- ・業務時間 午前7：30～午後4：30
- ・窓口従事者 1人体制
- 乗車券類販売額 15,511千円 (R1 43,842千円) ※前年比△65%
- 販売手数料 637千円 (R1 2,048千円) ※前年比△69%
- ※販売額の乗車券5%、定期券1.8%
- ・運営経費 4,143千円 (委託料:4,000 使用料:143)
- ※R1 3,700千円 (賃金:3,252 需用費:198 使用料:250)

## (4) 地元特産品の宣伝・開発等

- 工芸街道祭り（実行委員会主催） 中止

## 2. 観光

### (1) 観光行事、イベント関係

- 第18回なぎそミツバツツジ祭り（実行委員会主催） 中止
- 妻籠宿火まつり 中止

- 与川古典庵の観月会 10月1日（外部に未周知）
- 田立の花馬祭り 中止
- 工芸街道祭り 中止
- 文化文政風俗絵巻之行列 中止
- 新春狼煙上げ 1月4日

(2) 観光施設

- 観光客数等調査・感染防止対策機器設置工事（新型コロナ交付金事業）
  - ・歩行者カウンター設置5カ所 ソーラータイプ：南木曾岳登山口・田立の滝入口  
通常電源タイプ：中山道与川・柿其遊歩道・妻籠宿観光案内所前
  - ・非接触型体温計設置3カ所 博物館2・妻籠宿観光案内所1
  - ・工事費 2,315,500円
- 観光施設修繕工事等 合計 3,698,900円
  - ・観光地トイレ自動給水栓 15施設 24箇所（1,296,680円）
  - ・桃介橋河川公園内木曾川流入箇所復旧、南木曾岳登山道（蘭側ルート）笹狩り・田立の滝遊歩（不動岩・天然公園）笹刈り、熊出没注意看板設置、古典庵転落防止柵設置工事、他
- 観光施設、登山道、歩道等の維持管理（草刈、小修理など）
  - ・田立の滝登山道、柿其溪谷遊歩道、南木曾岳登山道、川西古道、与川歴史の道、SL公園、他
  - ・天白公園ツツジ園（中学生、シルバー人材センターによるボランティア作業も実施）
- 観光案内板等の小修理、維持管理
  - ・田立の滝、南木曾岳、柿其溪谷、天白公園、妻籠宿、他
- 福沢桃介記念館と山の歴史館 指定管理委託：桃介橋河川公園組合  
（指定期間）平成28年4月1日から令和3年3月31日まで  
指定管理料：1,600,000円（河川公園と併せて）

(利用状況)

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月	合計	R1実績
28	13	62	82	135	146	170	130	0	766	1,914

※12月～3月下旬まで冬季閉館

※新型コロナウイルス感染症の影響により減少

(3) 広域観光連携の取り組み

- 木曾観光連盟・観光宣伝協議会と連携した取り組み
  - ・「木曾路フリーきっぷ」とのタイアップ（主催：JR東海） 1,979名（前年比△54.6%）  
バス・タクシー利用券＋観光施設無料入場券（4,000円）  
お買い物券（妻籠宿登録店：2,000円）
  - ・「日帰り1day木曾路」 宿場町散策マップを付けた旅行商品（通年販売） 91名

○木曾広域観光振興プロジェクト会議との連携

- ・茶摘み体験と郷土食を味わうプログラム（中止）
- ・「季刊誌木曾路（年4回発行）」による旬な情報発信

○中津川市、阿智村、木曾広域圏との連携

- ・県際交流協議会 広域観光連携の推進 着地型旅行商品の研究  
（南木曾町・中津川市・大桑村・上松町・王滝村・阿智村）

○伊那路・木曾路広域観光連携会議との連携

- ・伊那路・木曾路広域連携観光PR展（中止）
- ・ツーリズム EXPO ジャパン（中止）
- ・伊那路木曾路広域観光連携促進フォーラムの開催（中止）

○尾張藩連携事業推進協議会との連携

かつての尾張藩に所縁のある名古屋市、犬山市、郡上市、下呂市、中津川市、塩尻市、木曾郡6町村の自治体と民間企業が連携し、名古屋を起点とする昇龍道中央エリアを周遊する尾張藩周遊ルートを新たに形成し、欧米豪からの集客を目的とした広域観光プロモーションを実施するために令和元年度に尾張藩連携事業推進協議会を設立している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりプロモーション動画のみ作成し youtube で公開されている。

#### （4）観光協会等

○（一社）南木曾町観光協会（町補助金：10,000千円）

新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業は限られたが、公益的の事業として観光客入込等の各種調査、GO to キャンペーンや新型コロナウイルス感染症に係る施策の各種周知等を実施した。

宣伝事業として観光案内業務の他に下記の事業等を推進した。

- ・広瀬、田立地区で地域の観光資源を活用したモデルツアーを実施。
- ・「地域限定旅行業」の資格取得。近接町村間の旅行取扱が可能となった。
- ・元気づくり支援事業  
外国人ツーリズムの有識者を招聘しての講習会の開催。  
田立の滝・柿其溪谷への多言語案内誘導板の設置。
- ・南木曾駅観光案内所 1日1名（年末年始除く。観光客案内、駅前公園の清掃等）
- ・メディア関係広告掲載
- ・新聞広告、旅行紙広告に観光協会とタイアップして掲載（年間随時）
- ・各種取材への対応
- ・TV放送取材の対応
- ・南木曾町観光協会公式ホームページ「ぶらり南木曾」英語版、スマホ英語版の対応管理、運営

※町からの委託業務

- ・南木曾駅切符販売業務（委託料 4,000千円）
- ・南木曾駅前公衆トイレ管理（委託料 500千円）
- ・南木曾町観光宣伝業務（委託料 1,756千円）

○木曾観光復興対策協議会

観光業を中心として御嶽山の噴火により深刻な影響を受けた木曾地域の復興を図るため、県、郡内町村、木曾広域連合、木曾観光連盟、木曾郡内観光協会等で組織する協議会を平成26年度に設立。復興事業、PR活動等実施している。

○町加盟団体：木曾観光連盟、長野県観光連盟、日本観光協会、みなみ木曾路連絡協議会、中央アルプス山岳観光協議会、日本桜の会、国有林観光施設協議会、日本の森滝渚全国協議会、木曾地区温泉協会、全国街道交流会議、信州まつもと空港利用促進協議会、南木曾伝統工芸の森育成協議会、伊那路木曾路広域観光連携会議、尾張藩連携事業推進協議会

○南木曾駅観光案内所対応件数（※窓口で対応した件数・人数。外国人は通過者数。）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問 合 件 数	R2	99	8	134	133	192	277	449	452	218	80	144	271	2,457
	R1	1,244	1,033	730	837	970	944	1,203	1,097	406	334	298	422	9,518
	H30	1,065	893	641	746	833	843	1,054	885	348	249	314	695	8,566
	H29	835	807	507	680	777	659	805	638	296	264	277	600	7,145
案 内 人 数	R2	160	12	224	248	322	504	818	946	341	97	222	409	4,303
	R1	3,037	2,602	1,796	2,102	2,325	2,169	2,993	2,594	894	700	614	861	22,687
	H30	2,645	1,971	1,344	1,799	1,903	1,887	2,630	2,191	833	535	688	1,659	20,085
	H29	2,061	1,857	1,097	1,592	1,700	1,392	1,868	1,433	672	549	625	1,413	16,259
外 国 人	R2	48	4	45	49	44	56	86	96	37	1	28	34	528
	R1	4,402	3,538	2,399	2,902	3,067	3,060	4,723	3,539	781	607	529	643	30,190
	H30	4,463	3,315	1,850	2,680	3,000	2,602	4,159	3,128	732	431	498	2,004	28,862
	H29	4,050	2,798	1,636	2,282	2,493	2,134	3,837	2,596	703	566	648	1,959	25,702

○観光客入込数

単位：百人

	妻籠宿	柿其溪谷	田立の滝	南木曾 山麓	南木曾 温泉郷	富貴畑高原 温泉郷	合計
R2	1,673	80	68	104	1,017	71	3,013
R1	3,867	135	49	184	1,847	132	6,214
H30	3,655	138	39	169	1,121	140	5,262
H29	3,849	149	30	170	378	131	4,707

○中山道馬籠峠を越える外国人ハイカー [(公財) 妻籠を愛する会調べ]

地点：一石栃立場茶屋

単位：人

R2	2,900	R1	37,829	H30	31,032	H29	25,513
----	-------	----	--------	-----	--------	-----	--------

### 3. 地域交流

○「日本で最も美しい村」連合

- ・ 9月30日 連合関東・中部ブロック会議、長野県会議 中川村
- ・ 8月20日・2月3日 連合担当者会議 Web会議
- ・ 中止 連合定期総会・フェスティバル
- ・ 中止 連合長野県会議PR活動(名古屋) 金山駅

○長久手市との交流

- ・ 通年 観光施設で交流町村優待サービス事業
- ・ 通年 新生児祝い品事業 実績数：644件 (R1：633件)
- ・ 中止 平成こども塾受け入れ(マスつかみ等) 南木曾町
- ・ 中止 ながくて市民まつり 長久手市

○上下流交流

- ・ 5月13日 木曾広域交流事業基幹委員会 書面決議

○木曾三川流域連携

- ・ 6月4日 第1回木曾三川流域連携課長会議 中止
- ・ 9月17日 第2回木曾三川流域連携課長会議 Web会議
- ・ 2月10日 第3回木曾三川流域連携課長会議 Web会議
- ・ 中止 木曾三川流域連携シンポジウム

## 4. 農政関係

### (1) 農業委員会事務局関係

#### ① 定例農業委員会

- ・開催回数 12回(毎月)

#### ② 審議、活動等内容

- ・農地案件の現地確認調査、審議
- ・農業経営基盤強化促進法による利用権設定の審議
- ・農地利用の最適化にむけた地区懇談会への参画
- ・転作の現地確認・中山間直払等現地確認
- ・農地利用状況調査・農地利用意向調査
- ・農地無断転用防止のパトロール活動
- ・農作業安全運動推進PR
- ・農作業標準料金の審議
- ・農地農家台帳システムの整備(フェーズ2への移行)
- ・町内各生産部会等への参画
- ・全国農業新聞普及・拡大の取り組み
- ・長野県農業委員大会と各種研修会(県農業会議・情報活動・郡事務研)への参加

#### ③ 農業委員名簿(令和2年度は農業委員、農地利用最適化推進委員の改選年度)

##### 【農業委員】

任期 平成30年2月15日～令和3年2月14日

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
伊藤 兼彦	妻籠	地区推薦	古井小恵子	田立	地区推薦
松原 徳則	与川・北部	地区推薦	片田 恵	田立	地区推薦
尾崎 省吾	蘭・広瀬	地区推薦	小原 明信	蘭・広瀬	地区推薦
山川 あゆみ	三留野	地区推薦	青木 房江	妻籠	団体推薦
早川 親利	三留野	団体推薦	小倉 敏保	田立	地区推薦
小倉 勉	与川・北部	地区推薦	11名		

任期 令和3年2月15日～令和6年2月14日

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
伊藤 兼彦	妻籠	地区推薦	小倉 勉	与川・三留野	地区推薦
早川 親利	三留野・妻籠	地区推薦	山川あゆみ	与川・三留野	団体推薦
片田 恵	田立・妻籠	地区推薦	青木 房江	蘭・広瀬	地区推薦
高橋 徳	田立	地区推薦	古川 和久	蘭・広瀬	団体推薦
松原 徳則	与川・三留野	地区推薦	松原 正典	与川・北部	地区推薦
古井小恵子	田立	地区推薦	11名		

##### 【農地利用最適化推進委員】

任期 平成30年2月15日～令和3年2月14日

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
松原 規行	読書全域	地区推薦	松下 建三	吾妻全域	地区推薦
高橋 民義	田立全域	地区推薦	3名		

任期 令和3年2月15日～令和6年2月14日

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
松原 規行	読書全域	地区推薦	松下 建三	吾妻全域	地区推薦
小幡 悟	田立全域	地区推薦	3名		

④令和2年度農地関係取扱件数 (面積は小数点以下第1位で四捨五入)

内 容	件数	面積(m <sup>2</sup> )
農地法第3条による所有権移転(売買等による農地の所有権移転)	6	31,523
農地法第4条による農地転用 (所有権者本人による農地以外への転用)	2	135
農地法第5条による農地転用 (所有権移転または貸借等の権利設定を伴う農地以外への転用)	7	5,916
公共的事業等に伴うによる農地転用	2	275
非農地証明	5	8,089

参考：令和2年度における農地以外への地目変更面積 14,415 m<sup>2</sup>

(2) 農業振興関係

①経営所得安定対策と米政策

経営所得安定対策では、米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体としての所得向上等により、農業経営の安定を図るため実施されている。町では木曾郡農業再生協議会を中心に米及び有利な転作作物の推進を図った。

転作の現地確認は農業委員と中山間集落協定関係者で実施した。

町内農家に交付された交付金は総額7,020千円(R1年度6,639千円)となった。

○水田活用の直接支払交付金

(1) 戦略作物助成 (前年)

作物名	単価(円/10a)	面積(㌦)	交付金額(円)
大豆	35,000	3 (31)	10,500 (108,500)
飼料作物	35,000	760 (812)	2,660,000 (2,842,000)
発酵用稲(WCS)	80,000	325 (262)	2,600,000 (2,096,000)
合計		1,088 (1,105)	5,270,500 (5,046,500)

(2) 産地交付金

	単価(円/10a)	交付金額(円)
産地交付金	※下記単価参照	1,750,292 (1,371,538)

※対象作物要件：助成対象水田で品質向上、生産性向上の取り組みがなされていること  
(以下10㌦当り単価)

水田における生産性向上等の取組

そば：最大31,280円 大豆：8,500円 飼料作物：9,000円 WCS：最大29,600円

地域振興作物の生産

ハクサイ・スイートコーン・赤かぶ：最大24,914円

インゲン・トマト・えごま・トルコギキョウ・ユリ・リンドウ：最大20,914円

耕畜連携(水田放牧)：14,000円

②地域農業対策

地域営農体制の整備、農地の有効活用により持続的な農業生産を可能とする農業構造を構築するため、各種の取り組みを実施した。

○農業関係制度資金利子補給金 2名 21,215円

○農業振興小規模資金及びつなぎ資金関係

令和2年度利用実績 0件 貸付現在高（令和2年度末） 0件 0円

○農振農用地一般管理事業

編入面積 0㎡ 除外面積 17,589㎡ 用途変更 53㎡

○農地利用集積計画

利用権設定面積（農業経営基盤強化促進法に基づくもの）

年度	設定面積	年度末計画面積合計
平成30年度	5.2ha	26.6ha
令和元年度	5.3ha	25.7ha
令和2年度	8.2ha	22.2ha

（設定面積は該当年度における利用権の新規設定および更新の合計）

○人・農地プラン

中山間直接支払集落協定を基に全集落でプランを作成し町ホームページで公表した。

次年度以降に地域での話し合いを進め、具体的なプランへ更新をしていく予定。

③中山間地域等直接支払制度

中山間地域等直接支払制度は、今年度から第5期対策（令和2年度から令和6年度まで）が開始。協定集落 26集落

交付金 35,193,685円（内訳：国 17,596,832円 県 8,798,403円 町 8,798,450円）

集落名	面積（㎡）	交付金（円）	集落名	面積（㎡）	交付金（円）
与川1区	87,926	1,716,659	橋場	51,246	1,052,033
与川3区	74,888	1,490,745	大妻籠下り谷	61,300	1,276,298
与川4区	67,172	1,322,663	上在郷	48,689	1,119,729
与川5区	32,675	686,175	尾越	21,802	457,842
十二兼	40,443	792,209	上段	53,448	1,122,408
本谷	81,034	1,701,714	蘭	18,496	388,416
岩倉	84,857	1,859,091	元組	87,843	1,844,703
榑野	20,269	425,649	向粟畑	104,036	2,142,475
川向	27,712	409,206	粟畑	118,324	2,416,307
上の原	125,589	2,939,731	下切	80,922	1,812,145
神戸	31,351	706,491	大野	64,386	1,628,496
渡島	11,326	203,231	正兼	80,782	2,071,230
妻籠町上	40,112	818,603	塚野	129,038	2,789,436
			合計	1,645,666	35,193,685

④園芸特産振興事業

・茶の振興関係

田立製茶工場

操業 5月12日～6月1日(21日間) 生葉受入 13.3トン(前年度12.1トン)

製茶自動計量機導入補助 事業費3,190,000 補助金1,060,000円

第47回長野県茶の共進会

開催日 6月26日(金) 場所 南信農業試験場

総出品点数 29点(内、町内出品点数6点)

町内入賞者 知事賞 岡庭緑朗 1等賞 奥村定昭 2等賞 末松忠幸 大宮敬一

・野菜関係

農家の自主的運営で野菜の直売や道の駅、Aコープで販売されている。

町内の無人販売所 2箇所(田立)

地元消費拡大を目的に生産・販売・消費・商工関係者で「地産地消推進協議会」を組織して軽トラ市場部会と学校給食部会が活動を行った。

軽トラ市場は、長雨の影響により野菜の生育が悪く、販売できる量の確保が困難だったこと及びコロナ感染予防のため、7月から12月までのうち4回のみ開催となった。

学校給食の食材供給者に対する補助は、例年どおり運搬費補助を実施した。

【軽トラ市場なぎそグリーンマーケット開催状況】( )は前年数値

開催数	売上合計	延べ出店者数	主な開催場所
4回 (14回)	119,800円 (454,930円)	19店 (70店)	南木曾駅横駐車場

【学校給食食材提供運搬補助実績】( )は前年数値

	【小学校】			【中学校】		
	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)
合計	115回 (115回)	29,790円 (33,510円)	257,264円 (255,706円)	180回 (223回)	47,265円 (54,090円)	211,330円 (232,407円)

・花卉・花木関係

出荷数量

品種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ヒペリカム	3,924本	3,255本	6,025本	3,160本	3,160本
こうやまき	13,956本	14,725本	23,171本	29,377本	30,614本

※数値は南部花卉部会の数値

・みつばちふそ病関係

ふそ病検査を、松本家畜保健衛生所に協力して実施した。(対象戸数7戸)

(発生の確認なし)

広報誌により新規飼養者への届出等の必要性について周知を行った。

・園芸特産品振興事業補助金

岩倉むらおこし組合 味噌工場ボイラー建屋 補助金867,000円

【補助率2/3 上限1,000千円】

- ・パイプハウス設置事業補助金 1件 補助金 211,371円 【補助率 1/2 上限 30万円】

- ・南木曾町えごま同好会の設立（令和3年1月）

えごま栽培者の有志が集まり、南木曾町えごま同好会が設立。栽培技術の共有、研究、販売促進、ふるさと納税返礼品への登録などを目的に活動。

町は設立に対する支援、食品表示法関係の支援、ふるさと納税返礼品の登録支援を行った。

#### ⑤畜産振興事業

- ・家畜飼育状況（令和3年3月現在）（単位：頭）

年度	乳牛		肉用牛	
	農家数	成乳牛数	農家数	繁殖牛数
H28	1	30	10	61
H29	1	32	9	64
H30	1	23	8	63
R元	1	22	8	71
R2	1	22	8	76

- ・家畜市場（子牛）状況の推移（令和3年2月末現在）（単位：千円）

年度	雌		去勢		子牛全体		売上合計
	頭数	平均金額	頭数	平均金額	頭数	平均金額	
28	25	671	28	811	53	745	39,490
29	26	693	33	780	59	742	43,775
30	28	678	24	770	52	720	37,462
元	18	669	26	782	44	747	32,883
2	24	603	30	705	54	660	35,633

- ・家畜診療関係

平成16年度からNOSAI長野中信地域センター（旧NOSAI中信診療所）へ委託。

令和2年度負担金 349,000円（令和2年度から木曾地域特別負担金は中止）

- ・素牛導入事業

4頭導入 補助金額 852,750円 【補助率 1/2 上限 30万円】

- ・町有牛導入事業

令和2年度の町有牛の導入実績はなし。

年度末保有町有牛 5頭 評価額 計 4,309,410円

- ・長者畑草地関係

長者畑草地利用組合の解散により、令和元年度から町管理となった。

返地に向けて木曾森林管理署との協議を進める予定だったが、JRがリニア残土処理場の候補地として検討をすすめることとなったため、木曾森林管理署の転貸借許可を得て、環境調査及び地質調査をJRが実施している。

・大原公共採草地管理関係

大原公共採草地管理組合（組合員5戸）

一時的に公共工事の残土処理場として利用していた箇所が返地されたことにより、牧草を播種し草地としての利用を再開した。

現在、他の一部を新たに公共工事の残土処理場とする計画があり、草地として利用していない箇所がある。残土処理の完了後は、基盤整備のうえ草地として利用する予定。

・放牧関係

飼料自給率の向上と労力軽減を図ることを目的とした放牧事業を平成23年度から実施している。牛の放牧について、放牧期間中は畜舎が空くため日常的な家畜の管理が不要となる等のメリットはあるものの、遠方に放牧することにより、見回り等が必要となるため、飼育に対する負担感が発生する場合もあり、面積は減少傾向にある。

牛の放牧に加えて綿羊（サフォーク種）の放牧も引続き実施しており、牛に比べて移動が容易である等のメリットがあるが、個体数が少なく需要に追いついていない状況である。

放牧期間・面積 5月から10月（6カ月）約5ha

主な放牧場所：与川・椰野・上の原・塚野

・畜産クラスター事業関係

畜産農家を中心に町や関係機関が協力し、繁殖和牛等の経営を維持向上するため、事業計画・目標等を策定し活動していくための団体・事業を畜産クラスター事業という。南木曾町では、実施主体として「南木曾町繁殖和牛・酪農生産振興ネットワーク協議会」を令和元年度に設立した。

令和2年度は、機械導入事業等の事業計画を作成した。

⑥農作物有害鳥獣被害対策事業補助金

- ・電気柵等を購入・設置した場合の購入経費を補助。

（中山間地域直接支払制度受益農地は対象外）

実績：4件 補助金104,136円 【補助率1/2 上限3万円】

⑦農業技術の普及・改善・指導・試験研究

農業関係の普及事業等について木曾農業農村支援センターや農協との連携及び農技連の活動により推進した。

- ・農事（気象・防除等）に関する広報活動、農作業安全月間啓発活動
- ・稲作現地指導会 6月（26か所）
- ・ヒペリカムやコウヤマキの出荷目揃い会等 7月
- ・里芋実証試験栽培 5月～
- ・蘇南高校そば栽培協力 7月～
- ・なぎそ楽農教室（コロナ感染防止により中止）

(別表)

令和2年度 農政関係主要事業

(1) 農業委員会事務局関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
										国庫支出金
農業委員会運営経費（最適化事業） 機構集積支援事業		14名	3,538 605		1,480				2,058 605	
合計			4,143		1,480				2,663	

(2) 農業振興関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
										国庫支出金
水田農業構造改善対策事業			242		129				113	
中山間地域等直接支払交付金		165ha	35,194	17,597	8,798				8,799	
味噌工場ボイラー建屋改修補助		12㎡	867						867	
製茶工場自動計量機導入補助		1機	1,060						1,060	
ハンマーモア導入		1機	750						750	
素牛導入事業		4頭	853						853	
NOUSAI家畜診療所運営負担			349						349	

## 5. 農村整備関係

### (1) 町単小規模修繕事業

#### ○土地改良施設修繕

中山間直接支払制度の対象地域外の施設修繕を実施した。

(農道2件、水路2件)

#### ○土地改良施設原材料支給

##### ・農道整備原材料支給

各地区で実施する農道整備のための原材料支給を行った。(2件)

##### ・水路改良原材料支給

各水利組合で実施する水路整備のための原材料支給を行った。(2件)

※事業費等、別表参照

### (2) 土地改良施設維持管理適正化事業

令和2年度は、東町地区「細の洞水路」及び塚野地区「塚野水路」を施工した。

また、与川一区「宇礼水路」を現地調査し、令和7年度に工事が実施できるよう採択申請を行った。

※事業費等、別表参照

### (3) 農地農業用施設災害復旧事業

令和2年災は、豪雨により6月に10箇所(農地4箇所、農道2箇所、水路4箇所)、7月に5箇所(農地3箇所、水路2箇所)、9月に3箇所(農地2箇所、水路1箇所)が被災した。7月に被災した農地の内2箇所については、国庫補助事業にて復旧工事を実施し、その他は町単災害復旧事業により復旧工事を実施した。

※事業費等、別表参照

### (4) 県単緊急農地防災事業

土砂崩落危険箇所台帳に登録された危険性の高い水路を対象に県営で整備するもので、町は測量試験費と長土連特別賦課金を負担し、県が工事を施工する事業。令和2年度は、恋野地区「大屋ため池」の新規地区採択申請を行い、工事は次年度へ繰越となった。

※事業費等、別表参照

### (5) 農村地域防災減災事業

上越野・下切跨線橋(JR跨線橋)は、令和元年度に大規模地震に対する耐震性の評価・耐震補強の検討を行い、災害防止効果の算定や事業計画を策定し、新規地区採択申請を行った。

令和2年度は、新規地区採択申請の県ヒアリングが実施され、令和3年度から県営事業として採択される見込みとなった。

(6) 小水力利活用促進事業

平成27年度の小水力発電案件形成事業により、経済性が見込まれた細の洞水路について、平成28年度に小水力概略設計支援事業を活用して、詳細な発電計画及び概略施工計画等を策定し、経済性の評価やCO2削減効果も含めた総合評価を行った。平成29年度に計画概要書を作成し、農業水路等長寿命化・防災減災事業の新規地区採択申請を行い、平成30年度に工事着手した。

工事経過は、令和元年度（平成30年度繰越事業）に導水管敷設工事（第1期）、令和2年度に、令和元年度繰越事業である設計監理業務、発電施設建設工事、導水管敷設工事（第2期）を実施した。

令和3年1月1日から供用開始し、発電した電気は中部電力パワーグリッド(株)へ売電している。

小水力発電施設事業概要（主要設備）

沈砂池・ヘッドタンク L=15.2m

導水管総延長 L=631.24m

水車発電機 横軸ペルトン水車（オーストリア製）1基

定格出力32.0kW 最大出力42.3kW

機械設備 水車制御盤1台 パワーコンディショナー5台

歳入		歳出	
売電収入 (R3.1.1~R3.3.4売電分)	877,478円 23,462kWh×37.4円 時間平均15kWh	電気料	23,046円
		ケーブルテレビ使用料	15,690円
		基金積立金	838,742円
合計	877,478円	合計	877,478円

※事業費等、別表参照

(7) 国土調査事業

令和2年度の国土調査事業は、田立栗畑地区の山林部を実施した。

事業実績	調査区名	事業内容	事業費
地籍調査事業	田立の一部 25区	地籍図原図作成、地積測定、地籍図及び地積簿作成、最終取りまとめ 0.38km <sup>2</sup>	8,183,848円 (8,000,000円)  ( ) 内補助対象額
	田立の一部 26区	地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、一筆地調査、細部図根測量、一筆地測量 0.17km <sup>2</sup>	

※事業費等、別表参照

国土調査実施地区一覧

年 度	地 区 名	成果面積 (k m <sup>2</sup> )	成果筆数 (筆)	区 分	認証日	登記完了日
52 - 18	本谷～下切 28 地区	17.23	23,830	平地		
18 - 22	下切・塚野の一部 (山林) 4 地区	2.52	144	山林		
22 - 23	塚野の一部(山林)	0.18	31	山林	24.11.12	25. 3. 8
23 - 24	塚野の一部(山林)	0.14	44	山林	25.11.20	26. 6. 6
24 - 25	塚野の一部(山林)	0.09	25	山林	29.11. 9	30. 2. 5
25 - 26	塚野の一部(山林)	0.33	71	山林	30. 5. 7	30. 8.10
26 - 27	塚野・大野正兼の一部(山林)	0.46	105	山林	31. 2.21	元. 5.28
27 - 28	大野正兼の一部(山林)	0.29	62	山林	元. 8.29	元.10.16
28 - 29	大野正兼の一部(山林)	0.39	156	山林	2. 7. 6	2. 9.29
29 - 30	大野正兼の一部(山林)	0.29	72	山林	3. 3.31	未
30-元	栗畑・大野正兼の一部(山林)	0.24	84	山林	未	未
元-2	栗畑の一部(山林)	0.38	37	山林	未	未
2-3	栗畑の一部(山林)	0.17	95	山林	未	未
計		22.71	24,756			

地籍調査対象面積 73.96k<sup>2</sup> (平坦部17.23k<sup>2</sup> 山林部56.73k<sup>2</sup>)

平坦部成果面積計 17.23k<sup>2</sup> (進捗率100%)

山林部成果面積計 5.48k<sup>2</sup> (進捗率9.7%)

(8) 多面的機能支払交付金事業

第2期対策（令和元年度から令和5年度）の2年目。（15活動組織）

農地の維持や施設の長寿命化に取り組む活動に対して交付金を交付。

交付金5,575,864円（内訳：国2,787,932円 県1,393,966円 町1,393,966円）

地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)	地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)
与川1区	843	591,224	神戸	279	181,700
与川3区	689	301,312	元組	898	263,552
与川4区	671	401,800	向粟畑	1,056	677,800
与川5区	329	98,700	粟畑	1,074	663,000
岩倉	849	679,352	下切	862	246,800
椰野	189	56,700	大野	626	280,448
川向	276	73,000	正兼	799	520,700
上の原	1,227	539,776	合計	10,667	5,575,864

(9) 水田の不具合改善に向けた基礎資料

基盤や排水の不具合が発生している圃場が増えてきたことから、令和元年度に中山間集落協定地を対象として実態調査を行ってきた。

令和2年度は部内検討、関係機関との調整を行い次年度に現地調査、補助金事業の導入方法について詳細な調査を行う予定とした。

(参考)

令和元年度に実施した調査対象圃場 1,920筆 1,715,563㎡

主な調査結果

基盤の不具合がある圃場 273筆 改修が必要な面積27,579㎡

排水の不具合がある圃場 123筆

[別表]

令和2年度 農村整備関係 主な建設事業及び補助事業

1. 土地改良事業関係

①. 農道整備事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	
町単農道整備事業	町内	農道修繕 2箇所	336			310	戸場・元組 与川三区・下り谷
	町内	原材料支給 2箇所	134			134	
小計			470			444	

(単位:千円)

②. 小水力利活用促進事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	
農業水路等長寿命化・防災減災事業	東町 (細野洞)	設計監理 一式	1,980				※令和元年度繰越事業 ※工事費のうち、8,888千円は 前年度に前払い済
		発電施設建設 一式	82,808	15,540	21,000	13,411	
		沈砂池・ヘッドタンク L=15.2m 導水管敷設工 L=278.5m	26,213				
小計			111,001	15,540	21,000	13,411	

(単位:千円)

③. かんがい用水路改良事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	
土地改良施設維持管理適正化事業	塚野 (塚野)	実施設計 一式	869				
		水路改修 水路工 L=139.4m	8,448	4,500		932	
	実施設計 一式	484					
	水路改修 水路工 L=129.0m	5,522					
町単水路改良事業	町内	水路修繕 2箇所	347			322	東町・恋野
	町内	原材料支給 2箇所	56			56	沼田・東町
県単緊急農地防災事業	恋野 (大屋)	実施設計 一式	220			198	県営事業(水路工 L=44.3m) ※次年度繰越
小計			15,946	4,500	4,500	979	5,967

(単位:千円)

④. 災害復旧事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債		
国庫災害復旧事業	上の原	査定設計 一式	199	1,845			22	フトン/籠工 ΣL=34.0m (2段階み L=17.0m)
		実施設計 一式	74					
		農地復旧工 A=0.16ha	1,892					
	橋場	査定設計 一式	252	2,363			41	フトン/籠工 ΣL=30.0m (3段階み L=10.0m)
		実施設計 一式	102					
		農地復旧工 A=0.11ha	2,662					
町単災害復旧事業	町内	修繕 18箇所 (農地 8箇所・農道 3箇所・水路 7箇所)	5,029			176	4,853	
小計			10,210	4,208		239	5,763	

土地改良事業合計	137,627	69,758	20,040	21,000	1,244	25,585	(単位:千円)
----------	---------	--------	--------	--------	-------	--------	---------

2. 国土調査事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債		
国土調査事業	田立25・26区 (栗畑 山林)	25区(0.38km <sup>2</sup> :37筆)	8,184	4,000	2,000			2,184
		26区(0.17km <sup>2</sup> :95筆)						
国土調査事業合計			8,184	4,000	2,000		2,184	

農村整備関係合計	145,811	73,758	22,040	21,000	1,244	27,769	(単位:千円)
----------	---------	--------	--------	--------	-------	--------	---------

## 6. 林 務

### (1) 林業振興関係

#### (ア) 民有林振興対策事業

民有林振興対策として林業家の森林整備意欲等の向上を図るため補助を行った。

##### ① 林業指導啓発事業

南木曾町森林組合による民有林の指導啓発活動をはじめ林業職員の技術向上事業に対して988,000円を補助した。

##### ② 造林事業

森林所有者の負担軽減を図るため、除間伐を中心とする森林造成事業の森林整備費として森林組合を通じて777,177円を補助した。

実施された造林事業は、次のとおりである。

(単位：ha・円・m)

作業種	2年度		元年度		30年度		備 考
	事業量	補助金額	事業量	補助金額	事業量	補助金額	
地拵え	—	—	—	—	—	—	
新 植	—	—	—	—	—	—	
下 刈	5.40	—	—	—	0.85	—	
枝 打	—	—	3.0	—	—	—	
除 伐	—	—	3.0	—	3.32	—	
獣害防止	—	—	2.0	—	2.50	—	
間 伐	30.35	777,177	30.44	851,951	14.27	367,444	
除間伐	—	—	—	—	—	—	
搬出間伐	6.79	—	5.56	—	14.34	—	
改 植	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	
(竹林整備)	—	—	—	—	—	—	
計	42.54	777,177	44.00	851,951	35.28	367,444	
作業路	751	—	725	—	1,225	—	
合計	42.54	777,177	44.00	851,951	35.28	367,444	

\*町有林整備事業を含む。

##### ③ 特認事業

林業後継者対策事業として、南木曾町林業研究クラブに150,000円を補助した。

##### ④ 森林経営管理制度

木曾広域連合内に森林経営管理制度に対応する部署を設立し、モデル事業として与川川合地区(23林班)の意向調査を行った。木曾広域連合負担金：5,356,000円

##### ⑤ 木造公共建築物整備

令和3年度建設予定の妻籠町並み交流センター用資材として、権現町有林から50m<sup>3</sup>

搬出し製材を行った。製品は柱材 20 m<sup>3</sup>、板材 5 m<sup>3</sup>となり保管している。

⑥薪・ペレットストーブ設置補助

4台の薪ストーブ設置に対して補助を行った。100,000円/台

(イ) 植樹祭

10月6日、国有林内において、令和2年度木曾森林管理署南木曾支署・南木曾町合同植樹祭を行う予定だったが、新型コロナウイルス蔓延防止のため開催中止となった。

(ウ) その他

◎ みどりの募金

期間 4月1日～5月31日

募金額 223,210円 内訳 世帯募金 220,500円  
職場等 2,710円

街頭募金を5月2日に妻籠宿ふれあい館前にて実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

◎ みどりの少年団

例年7月下旬に、王滝村松原スポーツ公園にて開催される木曾地区みどりの少年団交流集会へ南木曾小学校みどりの少年団が参加する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

◎ 南木曾中学校1年生体験学習

4月13日 椎茸植菌作業事前学習（講師：木曾地域振興局林務課）

22日 椎茸植菌作業 新型コロナウイルス感染拡大防止による休校のため、中学校職員、森林組合、役場にて実施。

10月23日 林業体験事前学習（講師：南木曾町森林組合）

28日 田立地区国有林内の学校林において、林業体験として間伐作業。

◎ 森林の里親促進事業

福澤桃介が初代社長であり、愛知県名古屋市に本社のある、大同特殊鋼(株)がH28年度に創業100周年を記念して、福澤桃介ゆかりの地である南木曾町と森林の里親契約を締結している。今年度も昨年度に引き続き、森林整備のために年100万円の寄付をいただいた。大同特殊鋼(株)の社員の皆さんと共に山林整備を実施する予定だったが、新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となった。寄付金にて委託により下刈、作業道整備を行った。

(2) 町有林関係

(ア) 町有林造成事業

令和2年度の実施内容は以下のとおり

搬出間伐	(権現町有林、夏焼保神町有林)	6.79ha	
保育間伐	(長根学校林、権現町有林、夏焼保神町有林)		2.81ha
下刈	(下安町有林、天白町有林)	5.40ha	

(イ) 山林委員会

町有林の管理・維持のため各地区に山林委員を委嘱している。

委員の方には受け持ち林班の巡視を始め、町有林経営計画に基づく施業の確認、体験学習等の指導、関連事業の立ち会いをお願いしている。

## 山林委員名簿

委員長：楯 勇志 副委員長：田中 淳司

読書	楯 勇志	吾妻	亀山 寿幸	田立	小幡 征海
	田中 淳司		尾崎 利輝		林 重利

任期：令和2年5月1日～令和6年4月30日まで 4年間

山林委員会は、2回開催した。

山林委員の町有林巡視の他、南木曾町森林組合に巡視の一部を委託した。

(委託料：240,000円)

### (3) 林道開設・改良等事業

(ア) 林道開設 実施なし

(イ) 林道改良 実施なし

(ウ) 作業道開設

権現町有林搬出間伐業務に伴い搬出路として作業道を町有林内に開設した。

開設により高性能林業機械が侵入可能となり作業効率が向上した。

権現町有林作業道開設

R2年度 延長751.0m、幅員3.0m

### (4) カモシカ対策事業

民有林・国有林内におけるヒノキの幼齢木に対するカモシカの食害は、新植面積の減少により減る傾向にあるが、農作物を対象とした被害は依然として後を絶たない。

個体数調整事業は、第二種特定鳥獣管理計画に基づき被害状況から捕獲計画頭数を10頭としたが、長野県で精査した結果、計画頭数が4頭となり捕獲実績も4頭となった。

### (5) 森林病虫害等防除対策事業

・松くい虫防除対策

補助事業により南木曾町から大桑村への北上防止を実施するとともに、生活道路周辺の危険木と合わせ伐倒・くん蒸処理を実施した。

県補助事業により被害拡大防止に努めているが、北上防止を優先しており、大桑村町村境周辺のみ実施としている。このためその他地域では処理が進まず、町内の被害は拡大している。枯損木となり公共施設等へ倒木することにより人身被害及び物損被害の懸念のある木については地権者の申請により伐採のみ町で実施している。

・カシノナガキクイムシ対策

町内各地で被害が激増しており、枯損木が確認された。

県補助事業により、被害拡大防止のための被害木処理を実施している。

### (6) 有害鳥獣駆除事業

南木曾町有害鳥獣駆除対策協議会では、書面による意見聴取にて令和2年度の駆除実施計画、南木曾町有害鳥獣被害防止計画について確認し、駆除班を編成して実施した。

有害鳥獣の駆除・追払い等の活動を実施する、「有害鳥獣駆除従事者」は、南木曾町猟友会員のうち講習受講者54名の登録とした。

合わせて、「有害鳥獣駆除従事者」により「鳥獣被害防止実施隊」を編成し、有害駆除を実施した。

新規狩猟免許取得者5名へ取得費用の補助を行い、有害駆除従事者・被害防止実施隊員の登録をした。

国補助事業により向栗畑地区へ侵入防止柵の導入、大野正兼地区（町単補助）・渡島地区（町単）で緩衝帯を整備し、獣の移動ルートを寸断するとともに、隠れ場所を無くすことで出没防止を実施した。更にニホンザル用の捕獲檻6基、くくりワナ115基を購入し、猟友会各支部へ配布した。

県からの依頼により、豚熱（旧称豚コレラ）蔓延防止の観点から捕獲イノシシの検査を猟友会の協力の下で行った。（令和2年度 検査頭数8頭 内陽性0頭）

#### ○ 忠犬事業

忠犬による有害鳥獣の追い払い事業は、平成17年度から行われている。

令和2年度末までに本登録33頭が登録されている。飼い主へのアンケート調査を実施したところ、追い払いを実施している7割以上の飼い主から「効果あり」と回答があり、有効性を確認できた。

#### ○ クマ被害対策

猟友会の協力の下、被害対策・捕獲を行っている。県林務部へ管理計画の見直し等要望活動を行った。クマとの遭遇を避けるため、大野正兼 町道荒神線沿いの緩衝帯整備を実施した。広報誌や区長配布による注意喚起や、広報無線による出没情報の周知を図った。

### （7）治山事業（県事業）

県単治山事業

R元年度繰越 読書 与川 梓平（床固工3基、帯工1基）

### （8）災害復旧事業

（ア）補助災害分 林道長根線災害復旧工事

（イ）町単災害分 林道田の沢線路面洗堀復旧工  
林道秋葉山線路面洗堀復旧工  
林道袖山線倒木・転石除去工、路面洗堀復旧工  
林道摺鉢線倒木除去工、路面洗堀復旧工  
林道畑沢支線土砂除去工  
林道細野山線路面陥没復旧工  
林道長根線災害応急保護工  
林道長根線国庫補助付帯工

（ウ）県単災害分 なし

令和2年度林務関係主要事業

(1) 林業振興関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量 (ha、台)	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
林業振興事業補助金 (指導啓発事業)	森林組合		988					988	
林業振興事業補助金 (造林事業)	森林組合	25.93	777					777	
林業振興事業補助金 (特認事業)	林研クラブ		150					150	
山林資源活用機器設置補助金 (耕・ペレットストーブ設置)	町	4	400				400		その他：森林環境譲与税
合計			2,315	0	0	0	400	1,915	

(2) 町有林造成事業

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
町有林造成事業	町	下列・歩道整備 3.00ha	299				200	99	下安町有林(田立塚野) その他：寄付金
		下列・作業道整備 2.40ha	1,008				1,000	8	天白町有林(読書天白) その他：寄付金
		保育間伐 1.61ha	990	891				99	長根学校林(田立塚野)
		搬出・保育間伐 5.44ha 作業道開設 751m	9,139	3,777			462	4,900	権現町有林(吾妻大妻籠) その他：上下流交流基金
合計		4.16ha	4,416	1,385	0	231	2,800	夏焼保神町有林(吾妻保神) その他：上下流交流基金	
合計			15,852	0	6,053	0	1,893	7,906	

(3) 林道開設・改良・維持事業

ア 林道改良事業  
・実施なし

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他	
林道維持修繕	町内	維持修繕 トンネル 点検	6,694	0	2,019	0	修繕10路線、13か所 長根線、西山線、恋路峠線 日向平線、細野山線、田の沢線 秋葉山線、袖山線 川向柳野線 読書トンネル点検

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他	
権現町有林作業道開設	権現町有林	作業道 開設 751 m	3,198	0	1,280	189	上下流交流基金 189千円

(4) カモシカ対策事業

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他	
カモシカ個体数調整事業	町内一円	4頭	228	0	0	0	228

イ 捕獲実績

単位：頭数

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
頭数	20	8	8	8	8	8	9	10	10	5	3	4

(5) 森林病虫害等防除対策事業

1) 松くい虫対策

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m <sup>3</sup> )	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
森林づくり推進支援金事業	町内一円	22.62	886		770		116	県民税事業
松林健全化推進事業		128.99	5,687		3,041		69	
(内 松くい虫被害)	三留野以北	(113.92)	(4,679)		(2,510)		(69)	
(内 ナラ枯被害)		(15.07)	(1,008)		(531)		( )	
危険枯損木処理(松枯)	町内一円	3.73	291				200	地権者要望箇所対応
計		155.34	6,864	0	3,811	0	2,777	276

イ 枯損木の伐倒燻蒸処理量

単位：m<sup>3</sup>

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
処理量	91.74	135.00	135.00	155.00	5.25	10.59	8.93	5.00	2.00	104.11	65.62	57.21
年度	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2		合計
処理量	84.94	134.16	225.40	491.67	201.65	291.42	253.27	186.50	190.50	155.34		2,990.30

(6) 有害鳥獣駆除事業

単位：千円

ア 事業費

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
有害鳥獣対策事業	町内一円	一式	6,314				6,314	駆除報償金、檻修理等
鳥獣被害防止 緊急捕獲等対策交付	町内一円	一式	4,120	1,194			2,926	ニホンザル・ニホンジカ ・イノシシ 個体数調整
野生鳥獣総合管理対策事業	町内一円	一式	153	75			78	有害鳥獣捕獲者支援 ツキノワグマ放獣
鳥獣被害防止総合対策交付金	町内一円 田立 塚野	一式	1,578	1,560			18	ワナ、檻購入 侵入防止柵設置
忠犬による追払い事業	町内一円	一式	281				281	忠犬状態確認、訓練費補助 飼主傷害保険
計			12,446	0	2,829	0	9,617	

イ 有害鳥獣駆除数実績

単位：頭数

駆除対象鳥獣	サル	イノシシ	クマ	キジバト	カラス	ノウサギ	ハクビシン	タヌキ	カワウ アオサギ	ニホンジカ	アライグマ	アナグマ
報酬単価	30,000	10,000	15,000	—	500	—	3,000	3,000	1,000	30,000	3,000	3,000
有害期間許可頭数等	90	150	9	10	30	5	50	95	10	90	5	20
有害対象期間捕獲頭数	41	30	9	0	0	0	30	53	0	52	2	11
狩猟期間捕獲頭数	41	22	0	0	0	1	16	41	0	34	0	5
駆除合計	82	52	9	0	0	1	46	94	0	86	2	16
(前年度駆除頭数)	36	127	11	0	0	0	35	56	0	77	1	4

ウ 熊の出没回数

単位：回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年	1	3	13	21	24	25	2	1	0	0	0	0	90
令和元年	0	6	7	12	14	7	0	0	0	0	0	0	46

エ 忠犬登録実績

単位：頭数

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
読 書	22	23	26	26	26	27	25	25	24
与川一区	2	2	2	2	2	2	2	2	2
与川三区	2	2	2	2	2	2	2	2	2
与川五区	2	2	2	2	2	2	2	2	2
十二兼	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本谷	1	1	1	1	1	1	1	1	0
岩倉	1	1	1	1	1	1	1	1	1
戸場	3	3	3	3	3	3	1	1	1
川向	3	4	5	5	5	5	5	5	5
沼田	0	0	1	1	1	1	1	1	1
上の原	4	4	5	5	5	5	5	5	5
和合北	0	0	0	0	0	1	1	1	1
新町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東町	2	2	2	2	2	2	2	2	2
吾 妻	7	7	7	7	6	6	6	5	4
中町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
橋場	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大妻籠	3	3	4	4	3	3	3	2	1
下り谷	1	1	0	0	0	0	0	0	0
口広瀬	1	1	1	1	1	1	1	1	1
田 立	9	9	9	9	8	8	9	9	5
元組	1	1	1	1	1	1	1	1	0
向栗畑	3	3	3	3	3	3	2	2	2
栗畑	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下切	1	1	1	1	1	1	1	1	0
大野正兼	2	2	2	2	1	1	1	1	0
塚野	1	1	1	1	1	1	3	3	2
合 計	38	39	42	42	40	41	40	39	33

## (7) 治山事業費

## ア 県事業分 (R2年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量	備考
県単治山事業 (R元年度繰越)	杵平	床固工 帯工	3基 1基 請負金額 52,635千円

## (8) 災害復旧事業費

## ア 国庫補助事業分 (R2年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量	備考
林道施設災害復旧事業	長根	路肩流出復旧工	L=12m 請負金額 1,683千円

## イ 町単独事業分 (R2年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量	備考
林道災害復旧	田の沢線	路面洗掘復旧工	請負金額 150千円
	秋葉山線	路面洗掘復旧工	請負金額 165千円
	袖山線	倒木・転石除去工 路面洗掘復旧工	請負金額 264千円
	摺鉢線	倒木除去工 路面洗掘復旧工	請負金額 99千円
	畑沢支線	土砂除去工	請負金額 165千円
	細野山線	路面陥没復旧工	請負金額 88千円
	長根線	災害応急保護工	請負金額 41千円
		国庫補助付帯工	請負金額 176千円

